



はな や みつ よし 花谷充愉幹事長が2月の定例府議会で代表質問

花谷充愉幹事長(都島区選出)は、2月27日に開かれた2月定例府議会で代表質問に立ち、「大阪市廃止・分割構想」の特別区設置の目的やあり方を厳しく追及。「負の遺産」などについて松井知事に質問しました。

大阪市を廃止・分割して特別区を設置する目的とは? 3つのミスリードを鋭く指摘!

大阪府議会 自民党議員団 代表質問

1 大阪にふさわしい大都市制度 2 橋下・松井府政の検証 3 よりよき府政を目指しての提言 4 今後の府政のあり方

ミスリード その1 特別区になると「負の遺産」は生まれない?
実際は、特別区でも大型施設は設置可能!

Q. 花谷議員 「大阪市 負の遺産」として橋下市長にやり玉に挙げられている施設(WTCやATCなど)は、法令上、特別区でも設置できるのではないかと。

A. 大都市局理事 施設整備は法令に定められた事務ではないので、制度として特別区で実施できないものではない。

Q. 花谷議員 規制はできないとはっきり答弁いただけました。では、東京都の特別区が設置できている病院や美術館や研究所等を大阪の特別区に設置してはならないという規制はあるのか。

A. 大都市局理事 協定書においては大阪全体の成長、都市の発展及び安心安全に関わる事務等については大阪府が処理することと記載している。

花谷議員 これも同様に法令上の規制はできていないと理解する。

ミスリード その3 特別区になると負債が減る?
直ちに無くなるというのは全くの誤解だった

Q. 花谷議員 「大阪市廃止・分割構想」実現後、負債残高は劇的に減るのか。

A. 大都市局理事 既に発行済みの負債総額が直ちに減ることではないが、これまでに発行された地方債は償還が進めば減っていく。

Q. 花谷議員 知事・市長が「大阪市廃止・分割構想」を実現すれば、施設投資の無駄が解消して損失もなくなり、負債が減るかのようなミスリードを繰り返しているのはおかしい。誤解を与えているが、どう考えているのか。

A. 知事 府市バラバラに投資を行ってきた結果、多くの「負の遺産」を抱えることとなった。新たな大都市制度が実現すれば、2重の投資が解消されるとともに、5つの特別区に再編されることで施策選択が可能になる。誤解を与えているという指摘はあたらない。

ミスリード その2 「負の遺産」損失1兆3642億円?
実際は損失額の調査をしていなかった!

Q. 花谷議員 「大阪市 負の遺産」損失(*)と書かれている数字の合計は1兆3642億円だが、これ全てが損失なのか。
(*WTC 1193億円、ATC 3065億円、阿倍野再開発事業4800億円など)

A. 大都市局理事 事業費用として記載されたものの合計と理解している。

Q. 花谷議員 「負の遺産」とされた施設の損失はいくらか。

A. 大都市局理事 大阪市において、施設にかかる損失額を取りまとめたり、公表したりはないものと認識している。事務局としてもそういった分析は行っていない。

花谷議員 いいかげんすぎる。橋下市長が「負の遺産」のパネルを使って説明すると、市民は全額損失だと思う。



※民放番組(2/11放送)内で橋下市長が使用したパネルで大阪維新の会ホームページより引用。施設事業費すべてが損失額かのように作成されている。

よりよき府政を目指しての提言 健全な教育の回復

教育行政評価審議会の機能強化による普遍的な教育行政の確立を

Q. 花谷議員 現在の大阪府の教育行政を見ると、問題が山積みである。専門的なチェック機能をどう担保するかということは、教育の質の向上と中立性の確保、健全な教育行政推進には不可欠だ。そのために、教育行政評価審議会の役割を根本的に見直さなければならない。教育委員長の認識を伺う。

A. 教育委員長 教育行政を第三者の観点から点検・評価する大阪府教育行政評価審議会の役割は非常に重要であると認識している。このため、審議方法の改善や審議会委員に対する情報提供の方法など、点検・評価がより実効性のあるものとなるよう様々な工夫を凝らしてきた。9月の府議会で報告することとなっているが、さらに議論を深め、どういった改善ができるのか、審議会委員ともよく相談し、検討していきたい。

競争教育から、人間性を真に高める教育への転換…教育委員長の見解は

Q. 花谷議員 今や大阪府の教育は、競争が社会の根本原理のような教育行政が展開されているが、学力と人間形成の二つの課題に対応して始めて本来の教育であるといえる。もっと教育の本質を見極め、何でも競争で片づける教育から真に人間性を高める教育への転換が必要だと思うが、教育委員長の見解は。

A. 教育委員長 大阪府教育振興基本計画では、将来の夢や目標をもち、粘り強く未来に向かい歩いていくチャレンジ精神あふれる態度、基礎的・基本的な知識・技能を身につける、などを育てていくことを目標に掲げている。教育委員会としては、学力と合わせて人間性を育むことに力を注ぎ、次代の社会を担う自立した大人となっていくよう、大阪の教育力の向上に努めていく。